

筈

筈だより

校長 石井 卓之

子どもたちの学び

明けまして、おめでとうございます。令和2年の幕が上がりました。3学期は、1月8日から始まり3月25日に終わる正味55日間（6年生は54日間）、1年間の中で一番短い学期です。進級や進学の日となる重要な学期ですが、気を抜いているとあっという間に終わってしまう学期でもあります。

今年は4月から、学習指導要領の完全実施が始まります。教科書も新しくなり、今まで以上に「生きる力」の育成が求められています。学校では単なる知識の習得ではなく、子どもたちの学ぶ意欲を高め、課題を解決する力を身に付けられるように、指導法の改善を進めていかなければなりません。その根幹となるのは、自分に自信がもてる、自分のことが好き、進んでいろいろなことにチャレンジできるなど、いわゆる自己肯定感を大切にしたい教育を推進することだと考えています。

小学校に入学してきた子どもたちは、「先生、早く勉強しようよ。」「これで終わり？もっと勉強したいなあ。」と学習に非常に前向きです。ところが、5月の連休が明けた頃になると、学習に対して、否定的な言葉を発する子どもが出始めます。その原因の一つに、自分の学ぶスピードが遅いことや正答率が低いことなど、他者と比較して自信をなくしてしまうことがあります。しかしこれからの社会では、もしかするとスピードや正答率はAIが担い、人間は試行錯誤を通してよりよい解決策を見付け出す業務に力を発揮することが求められるかもしれません。小学校の算数ではこれまで、「速い、簡単、正確」を重視した指導が行われてきましたが、これも変わっていくかもしれません。「今までやってきたから」が通用しない世界が、すぐそこまで来ています。

不屈力とか、回復力とか、立ち直りとかいう意味の「レジリエンス」も大切となります。他人と比べて自分のことを悪く考えるのではなく、心のレジリエンスを鍛え、自分の短所を自分の長所ととらえ、磨いていくことも必要となります。

学校だより、学年だよりの「がくプリ」による配布

先にお知らせしていますが、1月からは学校だよりと学年だよりを「がくプリ」によって配布します。保護者の皆様に早く、確実に文書が届くようにすることと、学校の働き方改革の一つとして先進的に取り組んでいます。ご家庭でプリントアウトする手間が増えるかもしれませんが、ご協力のほど、よろしくお願いします。なお、今年度中は、「がくプリ」に登録されていないご家庭には、担任が紙による配布も行います。

安全目標

◆礼儀正しくしよう

生活目標

◆寒い日の服装・持ち物を工夫し、安全に歩こう

生活指導部

新しい一年がスタートしました。挨拶・言葉遣い・遅刻をしないなど、日常生活での振る舞いをしっかりと行いましょう。また、校帽をかぶる・名札を付けるなど学校のきまりについても、心新たに取り組んでほしいです。転倒防止のため、ポケットに手を入れることなく手袋をする等についても、ご家庭でお声掛けをよろしくお願いします。

港区子どもサミット 12/9



高陵アカデミー子どもサミット 12/18



12月9日（月）に、港区子どもサミットが開かれました。本校からは、5年生の日野優さんと、松本卓磨さんが参加し、港区の小・中学生の代表として、様々なテーマについて話し合いました。実際に議員の方々が使用する港区議会棟では、港区をよりよいまちにするために、自分達ができることや、大人に期待することなどについて話し合いました。

また、12月18日（水）には高陵アカデミー子どもサミットが箕小小学校で開かれました。本村小学校と高陵中学校の代表児童、生徒が集まり、これまでの取り組みについて振り返ったり、これからの活動について話し合ったりしました。今後は、箕小小学校や高陵地区をより良くしていけるよう、今回の話し合いで決まったことを、代表委員会で再度検討していきます。

「にこにこルーム」紹介

箕小小学校には、特別支援教室「にこにこルーム」があります。ここでは、苦手なことへの克服方法を身に付けたり、学習の仕方を学んだり、得意なことを日頃の学校生活で生かせるように表現力を身に付けたりする活動をしています。週1～2回の通級という限られた時間ですが、一人一人が学校生活の中で自分の力を発揮できるようサポートしています。

特別支援教室が発足して4年目になりますが、子どもたちがそれぞれの学級を出るとき、「にこにこルームに行ってきます！」「行ってらっしゃい！」というやり取りが見られ、教室の存在が学校の中で根付いてきたことを感じます。一人一人の特性を理解し、よさを大切に伸ばす特別支援教育について、今後ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

特別支援教室「にこにこルーム」
については、いつでも学校までお
問い合わせください。



展覧会について

展覧会委員会

昨年の12月6日（金）、7日（土）、8日（日）の3日間、展覧会が開催されました。たくさんの方々にご来校いただきました。どうもありがとうございました。

今年度のテーマは、「笄アートの森」でした。子どもたちと一緒に作り上げた“森”は、いかがでしたでしょうか。体育館だけでなく、家庭科室や玄関、階段など、様々なところで子どもたちの思いや工夫を見ていただけたかと思います。



子どもたちは、展覧会を通して、自分の思いを形にすることや、何度も挑戦すること、最後まで取り組むことなど、様々なことを学んでいました。また、出来上がった自分の作品や、友達、他学年の児童の作品を見て、新しい発見をしたり、思いを共感したりする姿が見られました。

インターナショナルデーでの学び

国際理解教育委員会 高澤 美和

去る11月16日土曜日、筈小学校独自の行事、インターナショナルデーを行いました。

15か国、50名近くの講師・通訳・サポーターの皆さんが来校し、授業をしてくださいました。

当日までの期間、来校する講師の国についてのクイズをして紹介した集会委員、難民について調べたことを掲示した代表委員など、各委員会のできる準備をしてきました。

当日は大使館の方々、テンプル大学や聖心女子大学の留学生の皆さん、日本お手玉の会の先生、NPOの方々など、多彩な講師の皆さんが19のブースに分かれて、それぞれの国や世界に関わる話をしてくださったり、体験をさせてくださったりしました。

クロージングセレモニーでは、講師の国の名前を日本語学級の5、6年生の児童が紹介し、皆さんが笑顔で挨拶をしてくださいました。

児童たちが授業後に書いた感想や講師の皆さんへのお礼状には、たくさんの気付きや学びがありました。

インドでは映画館で踊っていいことを知ってびっくりしたり、世界に難民が7000万人もいて自分の国を離れる時は必要最低限の物しか持っていけないことを知り、何を持っていくか真剣に話し合ったり…「ほかの国のことも知りたいです。」「国によって、色々な文化があると思う。」「学んだことを忘れないようにして家族に教えてあげたい。」など、1年生から6年生までそれぞれが気付いたことや学んだことをたくさん書いていました。

世界にはいろいろな国があり、それぞれよいところがあること、日本にもすてきな文化があることを肌で感じる体験ができたことを嬉しく思います。

開催に当たり、大使館コーディネーターの皆さんをはじめ、地域コーディネーター、スクールサポートスタッフの皆さんにもご協力いただきました。どうもありがとうございました。

1月の予定

日	曜日	行事・予定
1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬季休業日終
8	水	B時程 始業式
9	木	安全指導・給食始・書き初め会①
10	金	クラスタイム・書き初め会②
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	全校朝会・委員会活動
15	水	B時程・書き初め展始（～1/31まで）
16	木	のびのびタイム
17	金	B時程・漢字検定
18	土	土曜授業日・防災訓練
19	日	
20	月	全校朝会
21	火	クラブ活動
22	水	さわやかタイム・高陵アカデミー書き初め展始（～1/28まで）
23	木	
24	金	クラスタイム
25	土	
26	日	
27	月	全校朝会・行政書士会法教育（6年）
28	火	キャラメル教室（5年）
29	水	児童集会・研究授業（3年）
30	木	Enjoy! Musicプロジェクト（4年）・研究授業（1年）
31	金	クラスタイム・バレエ見学（5年）・東証授業（6年）

住所：〒106-0031

東京都港区西麻布3-11-16

電話：03（3404）1530

FAX：03（3408）4079